頭は本の読み方で磨かれる。

水谷祐介

優等生ではなくオタクを目指す。優等生というと、だいたいのことがそれなりに出来る人でそれに比べ、オタクというと偏りがあり普通の人とは違う変わった事にとても熱心に取り組む人だと思っていたのですが、そういう人ほど何か一つの事に熱中して取り組むことが出来て充実した学びを得られる近道だと知りました。

海外と日本では元の常識もいろいろ違いますなので、自分はこう思っていても本の中ではまた別の言葉で書かれていたりします。

また、自分の読んだことのないジャンルの本を読む事で新しい考え方ができるようになり人生の楽しみ方が増えると思います。

私は今まで自分の興味のある読みたい本だけを暇なときにだけ読んできたので、これからは、色々なジャンルの本をこまめな時間も使って読んでみたいと思います。

20 × 20